

大阪P C B廃棄物処理施設の概要

平成16年7月9日

日本環境安全事業株式会社

日本環境安全事業株式会社の概要

日本環境安全事業株式会社は、平成16年4月に100%政府出資で新しく設立され、環境事業団のPCB廃棄物処理事業を承継、国の監督と支援の下に、PCB廃棄物処理事業を推進します。

商 号：日本環境安全事業株式会社 (Japan Environmental Safety Corporation (JESCO))

根 拠 法：日本環境安全事業株式会社法 (平成15年5月16日法律第44号)

会 社 形 態：上記の法に基づき、旧環境事業団から承継したPCB廃棄物処理事業を主な業務として、国の全額出資により設立された「特殊会社」

目的及び事業：「日本環境安全事業株式会社は、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の処理に係る事業及び環境の保全に関する情報又は技術的知識を提供する事業並びにこれらに附帯する事業を経営する」(日本環境安全事業株式会社法第1条)

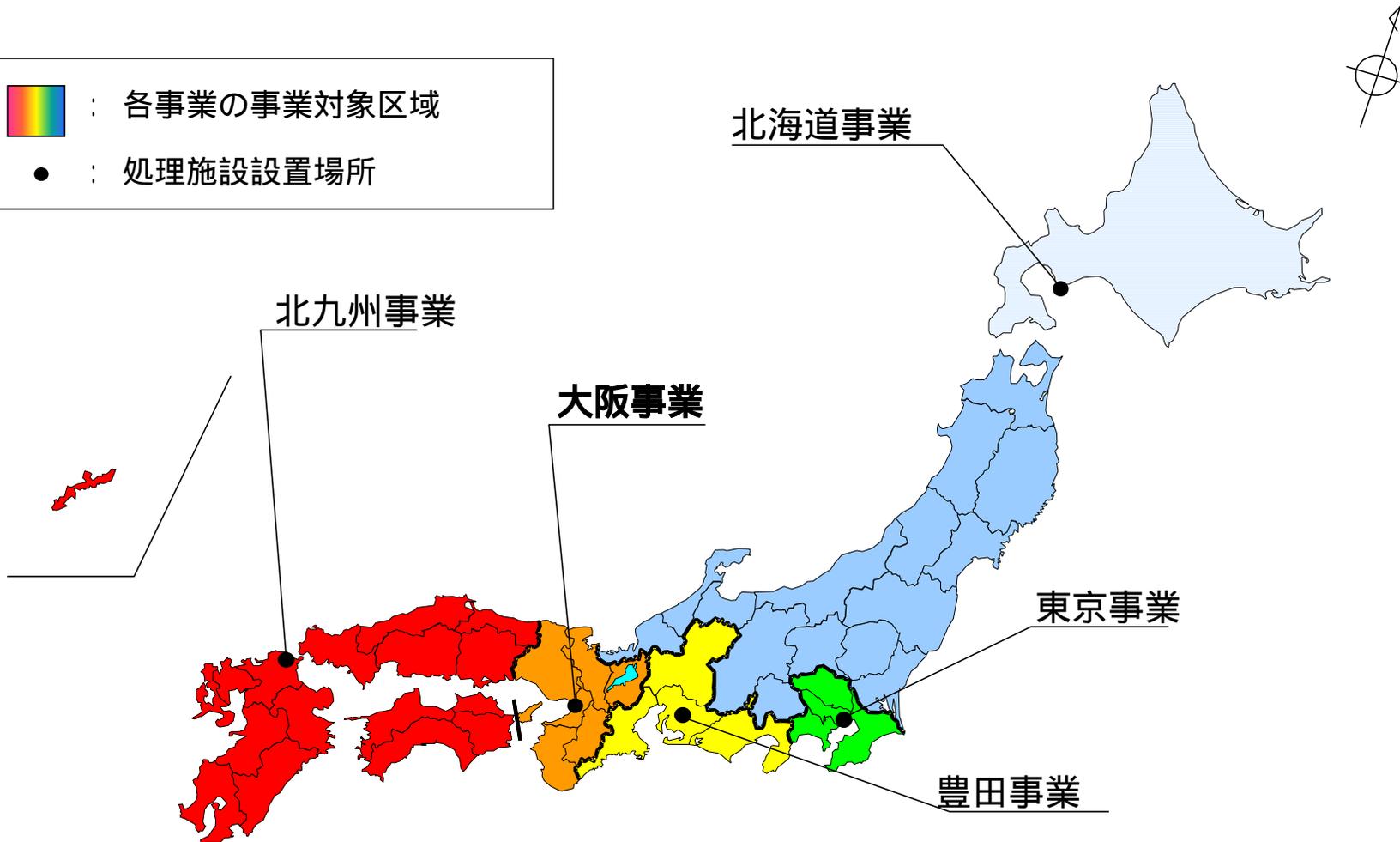
設 立：平成16年4月1日

所 在 地：本 社：東京都港区芝1 - 7 - 17住友不動産芝ビル3号館 4階

事業所：北海道室蘭市、愛知県豊田市、大阪府大阪市、福岡県北九州市
(東京事業所は、本社内に設置)

処理施設の設置場所

 : 各事業の事業対象区域
● : 処理施設設置場所



他事業の進捗状況



北九州事業所液処理設備

	実施場所	事業対象地域	施設能力	処理の開始時期	進捗状況
北九州事業	福岡県北九州市 若松区響町1丁目	中国・四国・九州 17県	第1期0.5トン/日 (PCB分解量) 第2期は今後設定	平成16年12月	本年6月1日から 試運転中
豊田事業	愛知県豊田市 細谷町3丁目	東海4県	1.6トン/日(PCB 分解量)	平成17年9月	平成16年4月から 着工
東京事業	東京都江東区 青海2丁目地先	南関東1都4県	2.0トン/日(PCB 分解量)	平成17年11月	平成16年7月から 着工
北海道事業	北海道室蘭市 仲町	北海道、東北・北 関東・甲信越・北 陸15県	1.8トン/日(PCB 分解量)	平成18年10月 以降の早い時期	平成16年4月に 処理対象地域 が確定し、処理 方式を検討中

事業の計画

事業計画地

大阪市此花区北港白津二丁目1-20、21
舞洲地区(約28,550m²)

処理対象

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県
及び和歌山県にある次のPCB廃棄物

- ・高圧トランス、高圧コンデンサ等の電気機器
- ・廃PCB等のPCB油

処理方式

PCB分解：触媒水素化脱塩素化分解法
容器・内部部材からのPCB除去：
溶剤洗浄法及び真空加熱分離法

高圧トランスなどの中にあるPCBを、トランスなどの容器の内部や内部部材に付着したり浸み込んでいるものも含めて化学的に分解します。

処理能力

- ・2トン/日(PCB分解量)
- ・大阪市内のPCB廃棄物を
先行処理します。

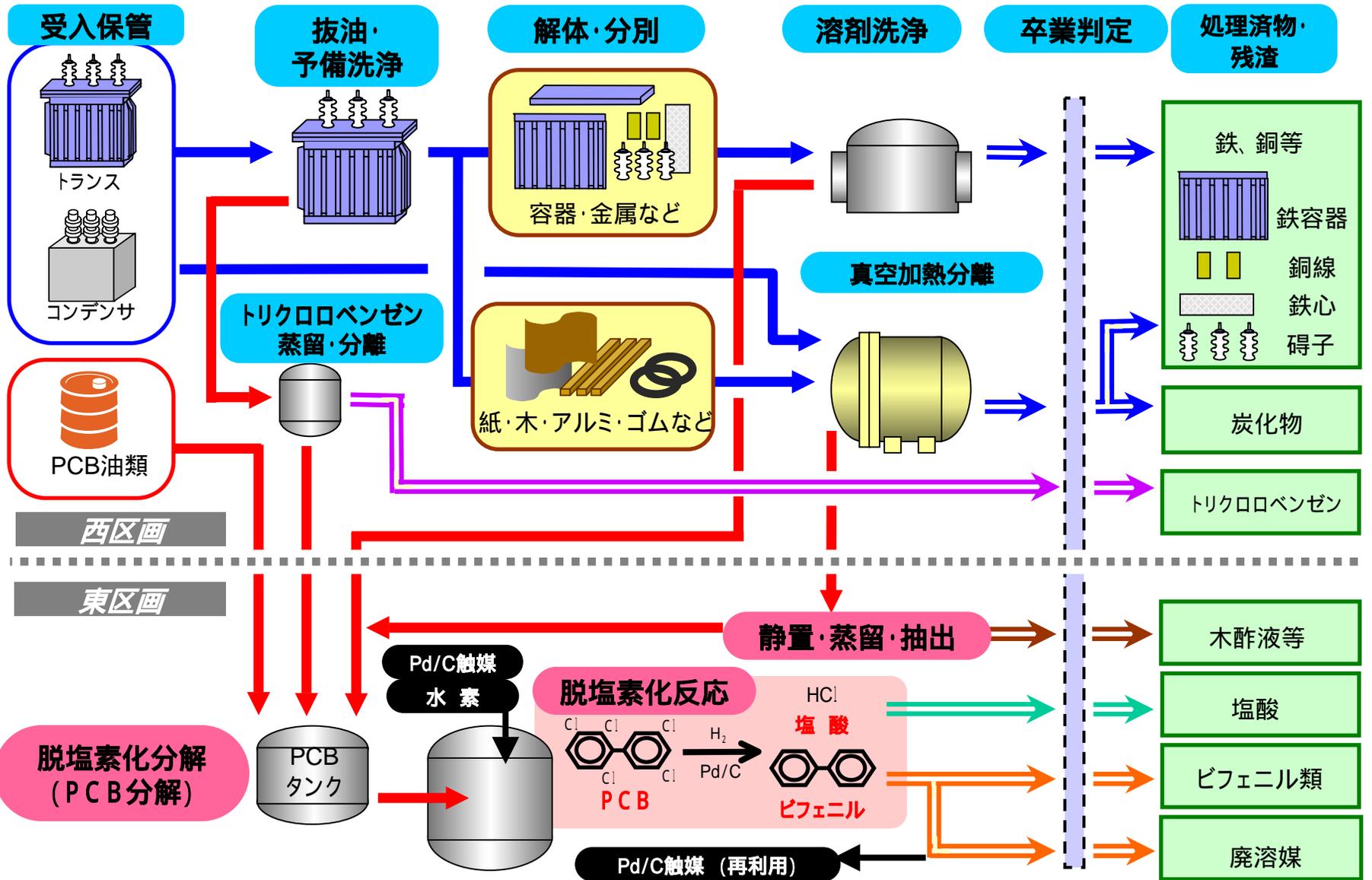
建物の概要

西区画：鉄骨造地上5階建
東区画：鉄骨造地上5階建

東西区画の役割分担



処理工程図



Pd/C触媒とは活性炭の表面にパラジウムという金属を付着させたものです。

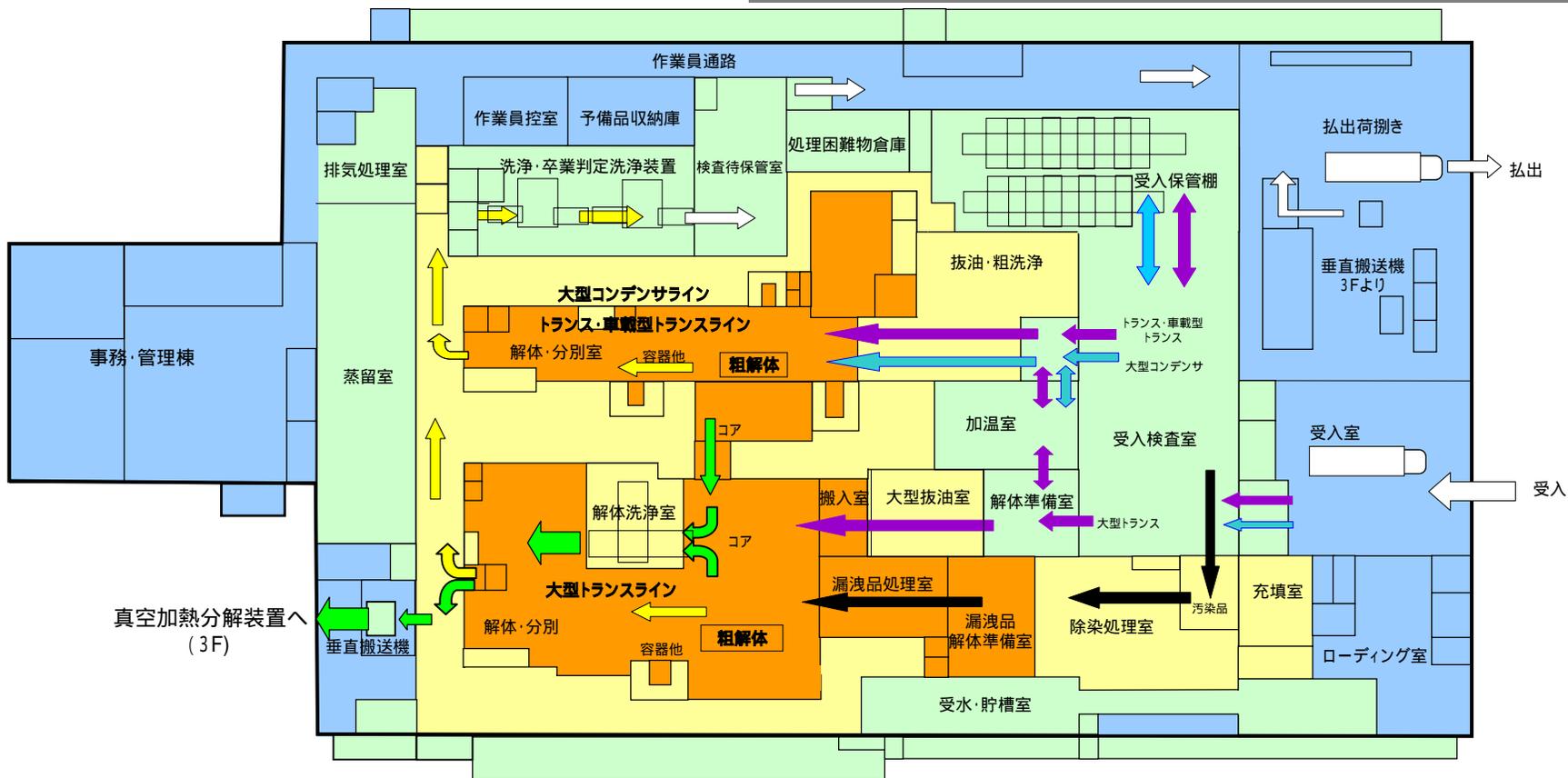
残渣は、極力リサイクルします。

PCB廃棄物の流れ(前処理)

西区画 1F

- レベル3管理区域
- レベル2管理区域
- レベル1管理区域
- 一般PCB廃棄物取扱区域
及び非管理区域

- トランスの流れ(解体前)
- コンデンサの流れ(解体前)
- 漏洩品の流れ(解体前)
- 非含浸性部材の流れ
- 含浸性部材の流れ
- 処理済品、その他の流れ

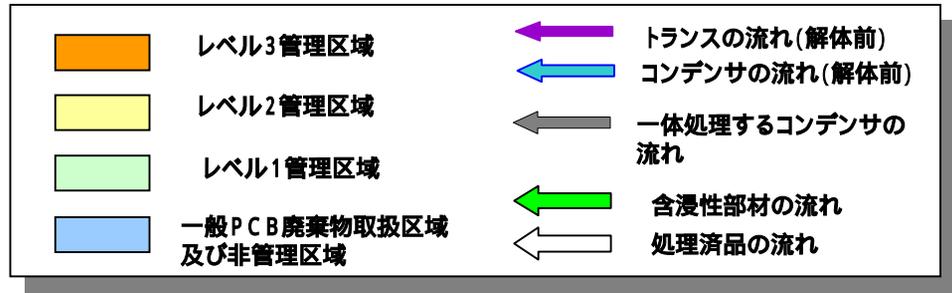


抜油・解体: 大型トランスのラインとその他のラインの2ラインを設けます。

洗浄 : 解体された部材は、非含浸性部材は洗浄工程に、含浸性部材等は3階の真空加熱分離工程に送られます。

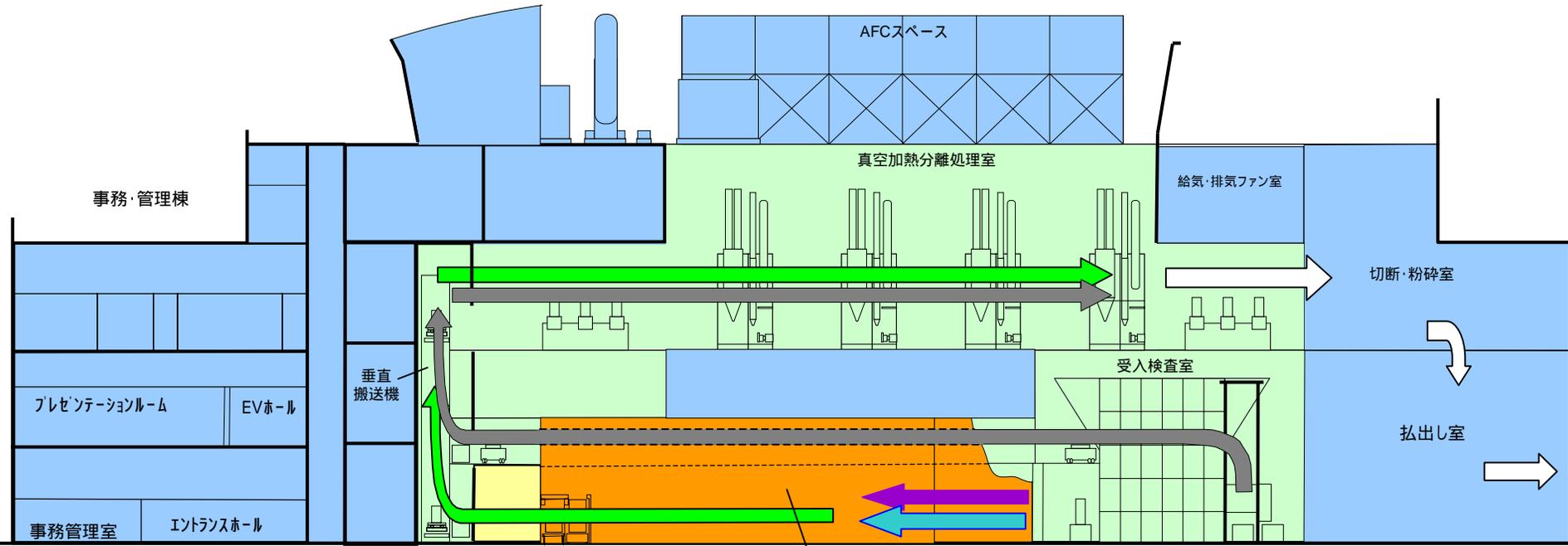
PCB廃棄物の流れ(前処理)

西区画 南北断面



南

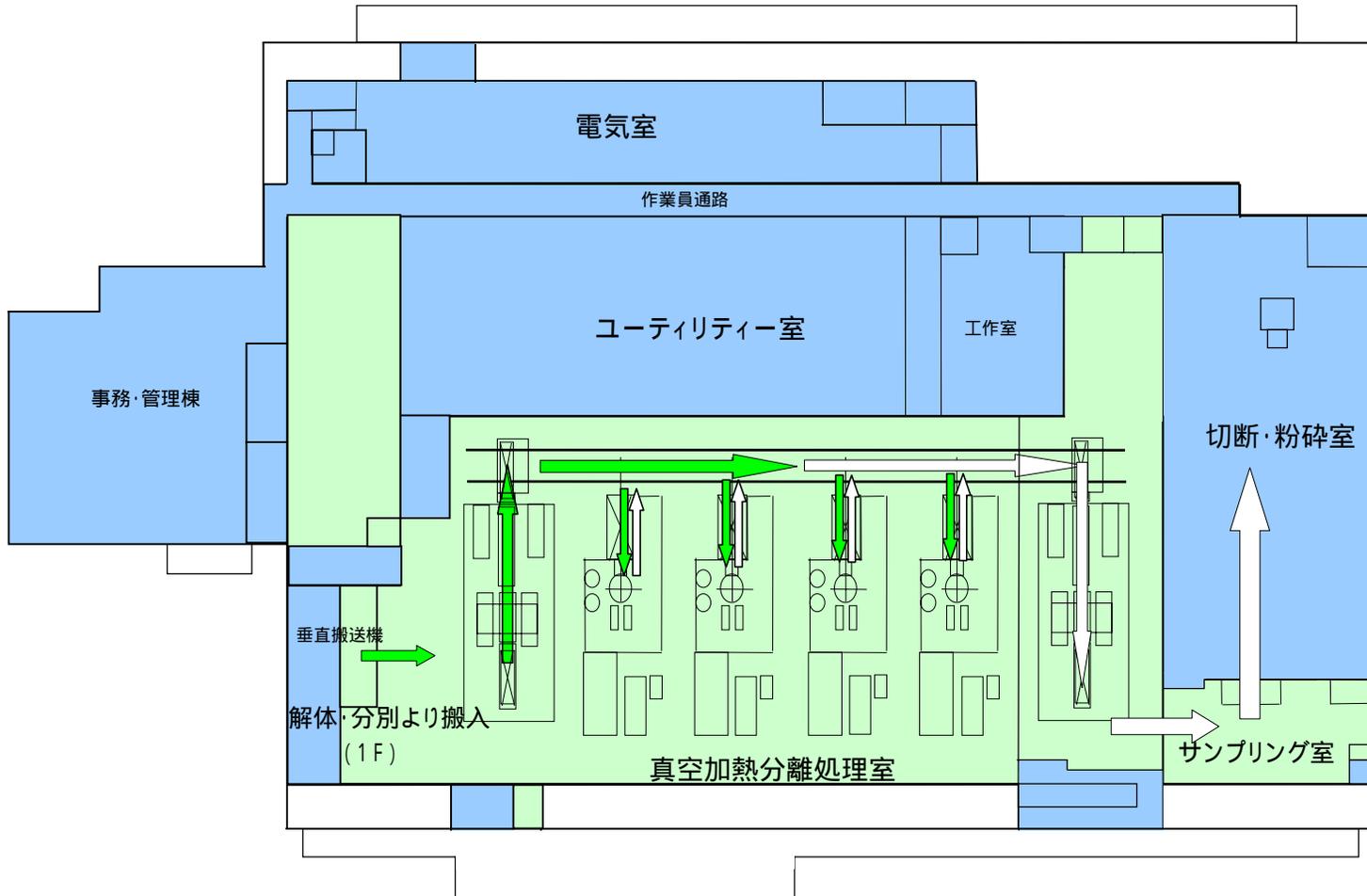
北



小型・車載型トランス、
大型コンデンサ処理ライン

PCB廃棄物の流れ(前処理)

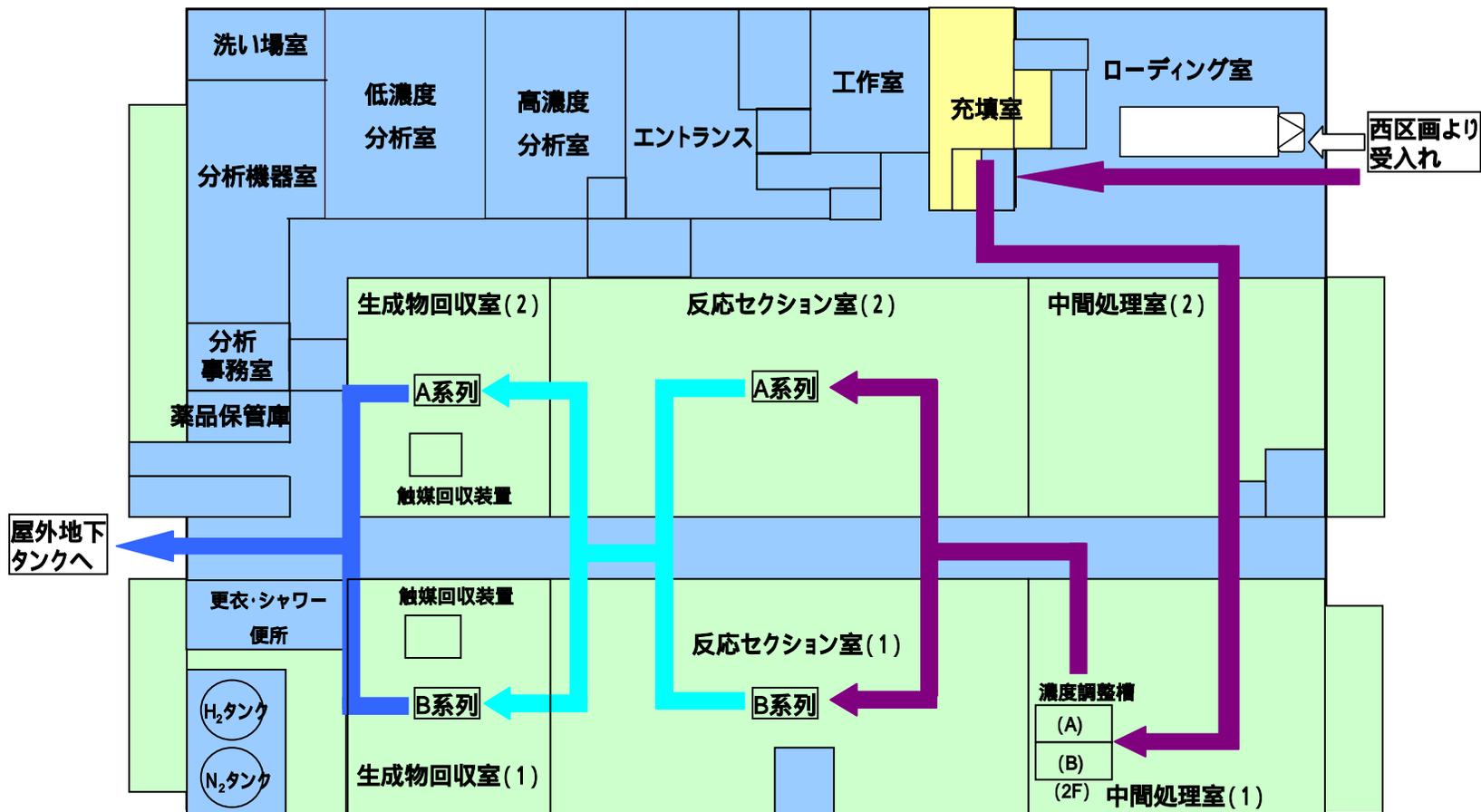
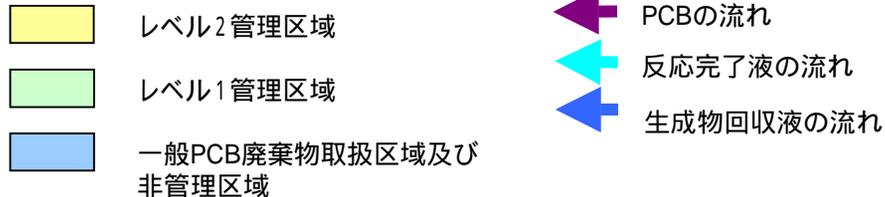
西区画 3F



真空加熱分離：含浸性部材等は真空下で加熱し、PCBを含んだ液体を分離します

PCB廃棄物の流れ(液処理)

東区画 1F



液処理: 前処理(解体・洗浄工程、真空加熱分離工程)から移送されたPCBを分解処理します。分解反応確認後、分析によりPCBが無害化されたことを確認します。卒業判定に合格した分解生成物(ビフェニル等)は屋外地下タンクよりリサイクルとして施設外に払出します。

情報公開型施設の設計

施設内情報公開設備

見学ルート

ほとんどの工程を安全に見学できるよう計画しています。

監視カメラによるモニター画面を備え、バリアフリーや目線の位置も考慮しています。

プレゼンテーションルーム

施設概要、処理の安全性等の情報について、分かりやすく紹介します。

収容人員 : 150人

情報公開ルーム

リアルタイムで各工程の運転状況、モニタリングの状況などを表示します。

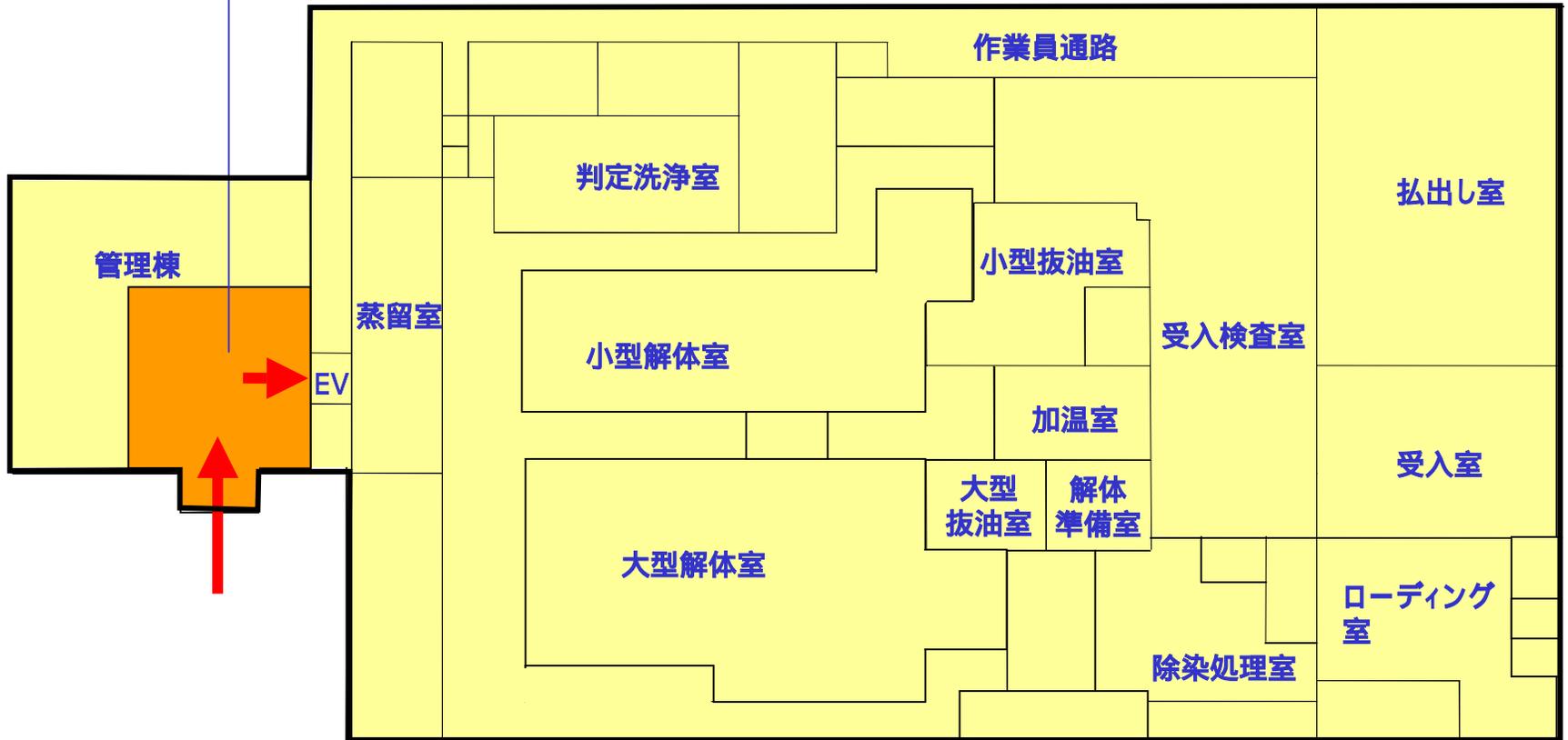
収容人員 : 50人

施設外情報公開

Webによる情報公開 PCB廃棄物処理に関わる情報をホームページ上に掲載します。

信頼され安心感のある安全な施設

エントランスホール
情報公開室

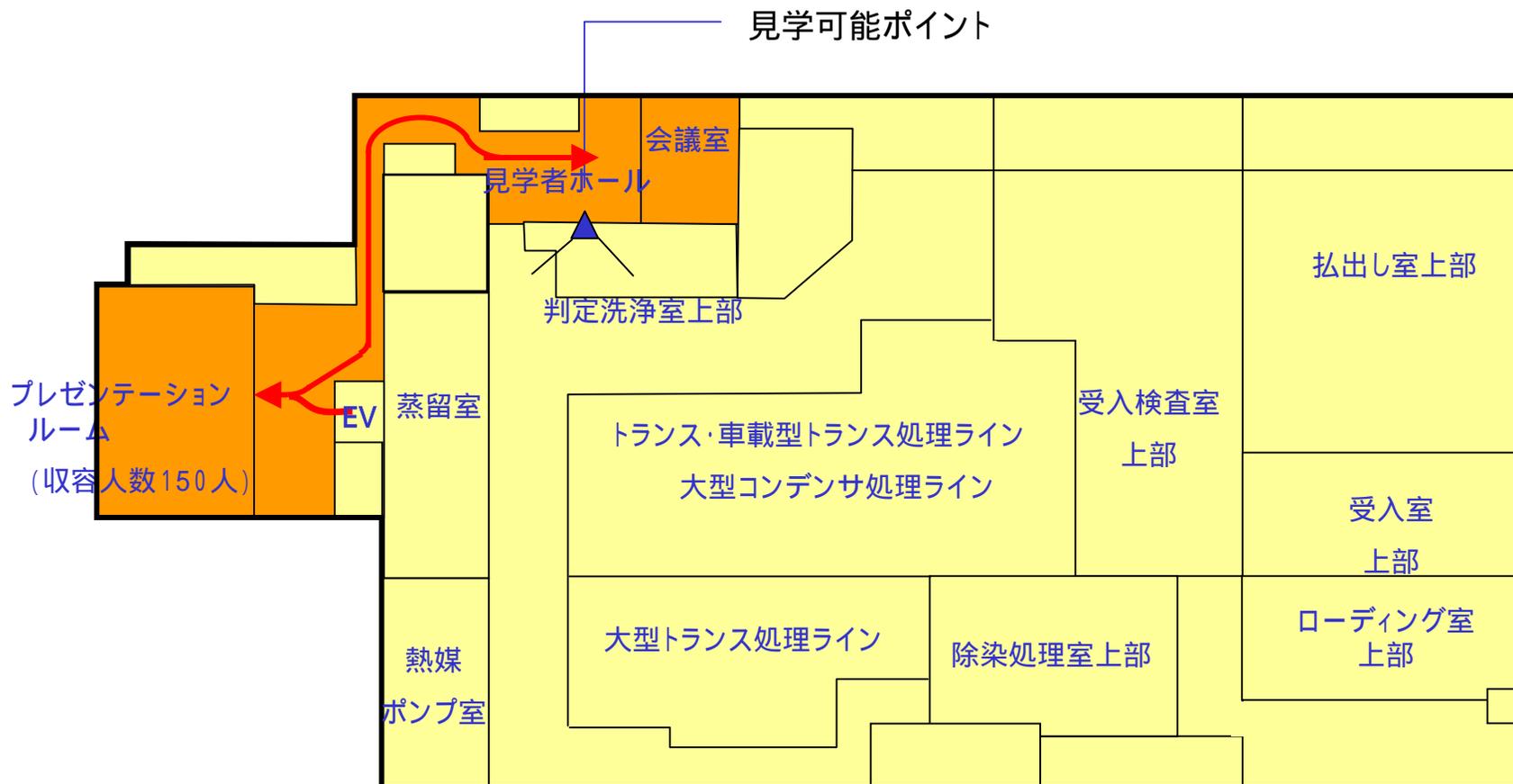


凡例

	見学者通路
	見学者動線
	見学可能ポイント

1階見学者動線

西区画



凡例

	見学者通路
	見学者動線
	見学可能ポイント

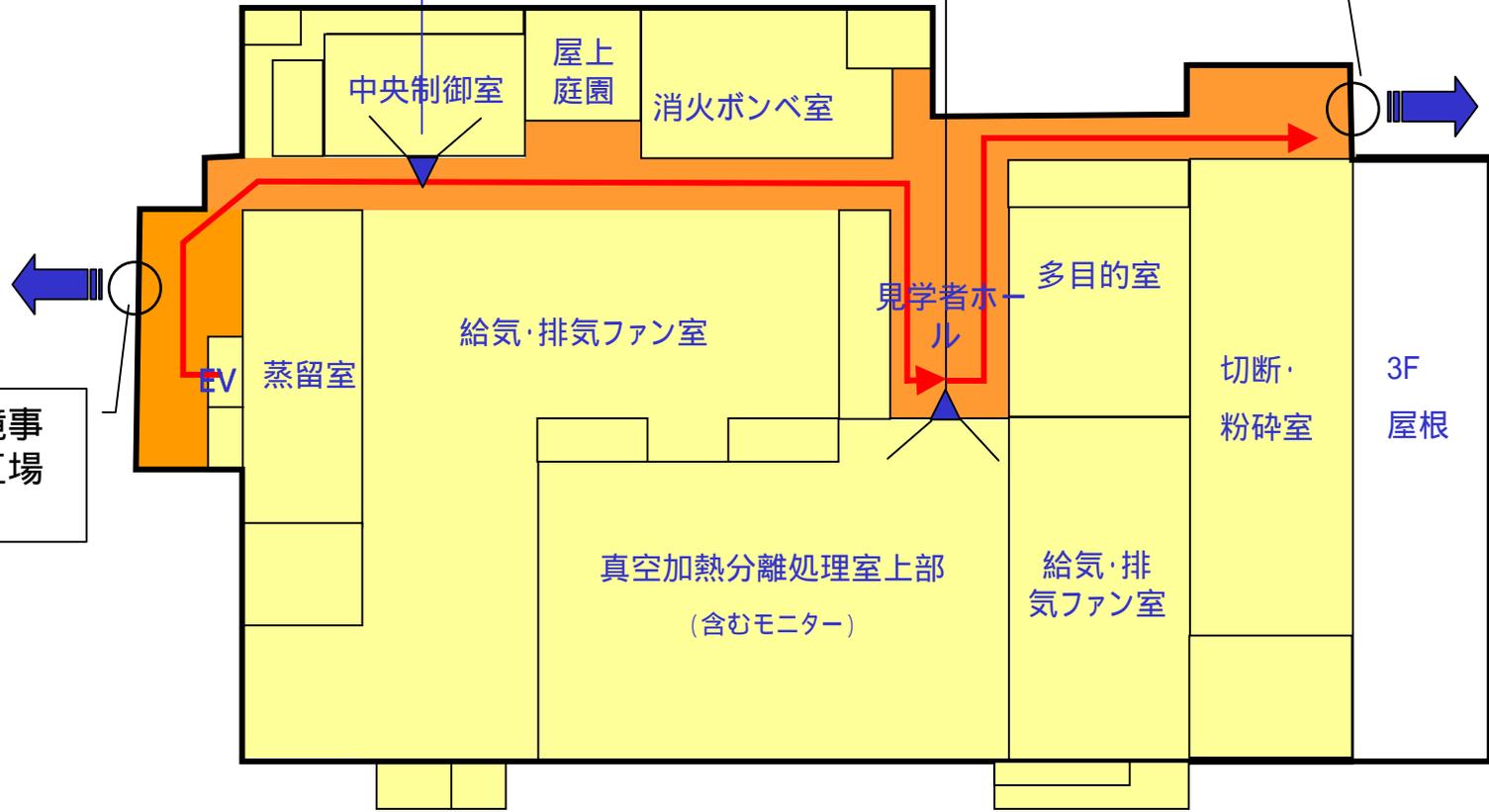
2階見学者動線

西区画

大阪市都市環境局舞洲スラッジセンターを望む

見学可能
ポイント

大阪市環境事業局舞洲工場を望む

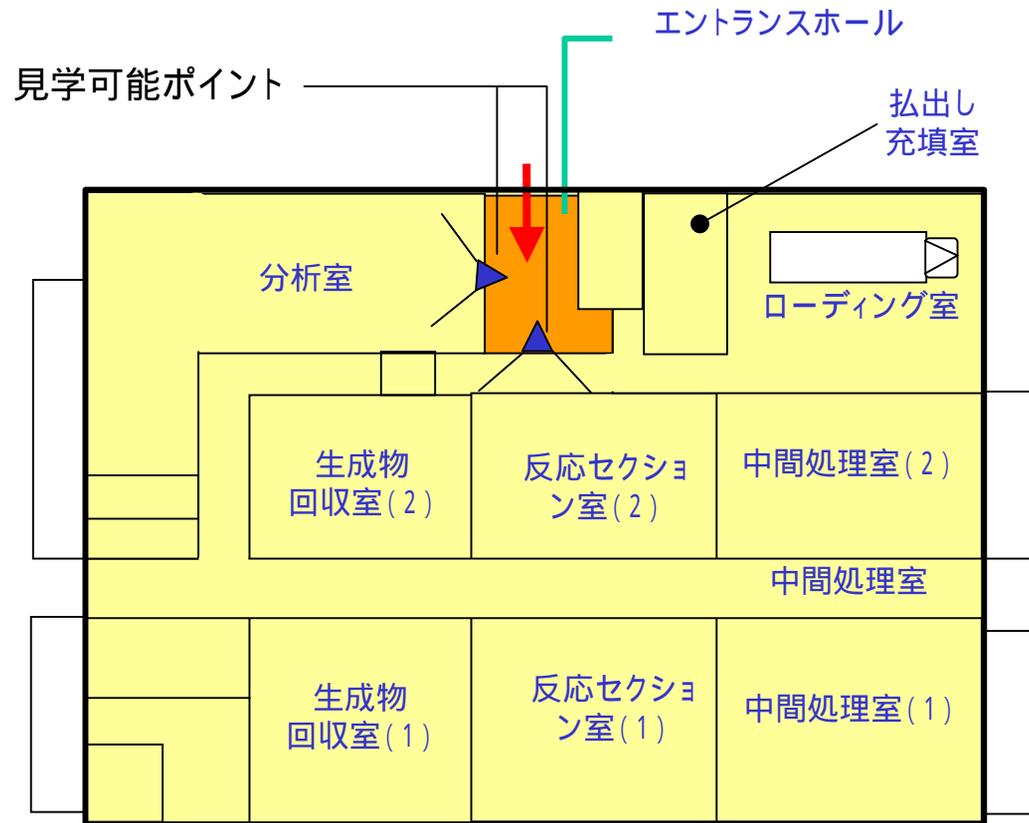


凡例

	見学者通路
	見学者動線
	見学可能ポイント

4階見学者動線

西区画

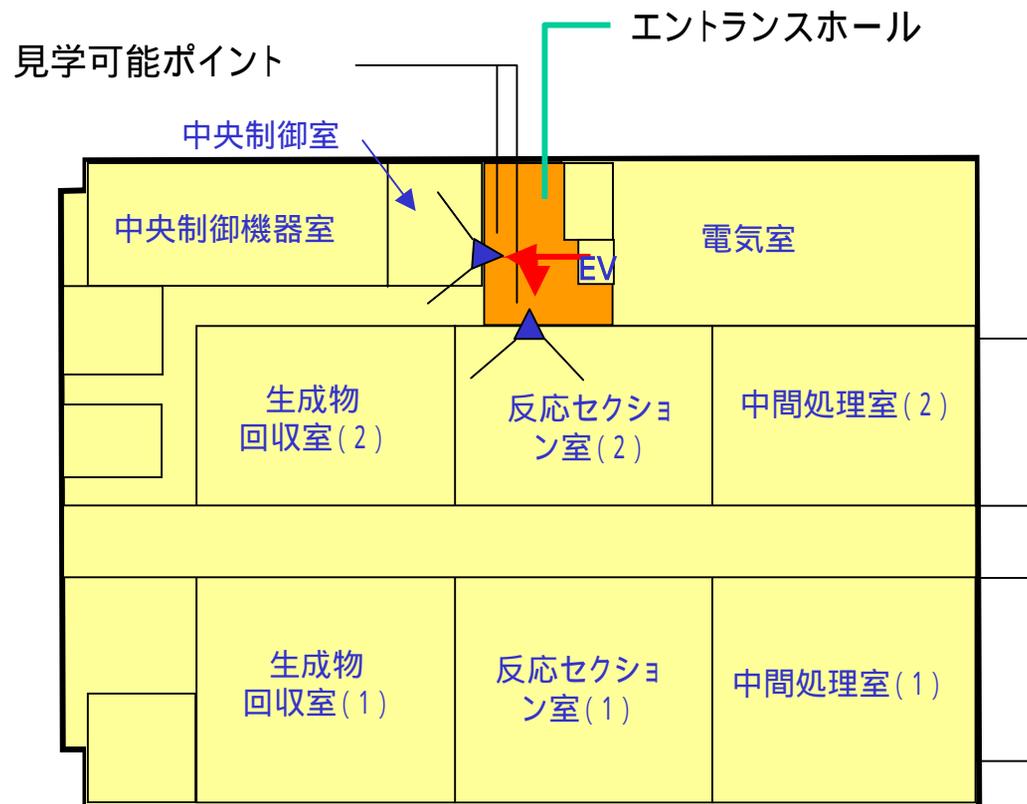


凡例

	見学者通路
	見学者動線
	見学可能ポイント

1階見学者動線

東区画



凡例

	見学者通路
	見学者動線
	見学可能ポイント

2階見学者動線

東区画